

## 貴重な経験を与えてくれた WEB SOUBUN

◇期 日 令和2年7月31日(金)～10月31日(土)

◇場 所 こうち総文祭 WEB SOUBUN サイト

<https://www.websoubun.com/dept/science/chemistry/page/015.html>

◇参加者 SS 化学部 中瀬結衣 (27H)

◇指導者 浮田直美 先生

新型コロナウイルス感染拡大の影響で、8月上旬に高知県で開かれる予定の第44回全国高等学校総合文化祭の現地開催が中止となった。その代替としてインターネット上でWEB SOUBUNが行われ、SS 化学部からは自然科学部門（化学部門）

に部員1名が参加した。「ウレアーゼ供給体としてのナタマメとダイズ～常温長期保存可能な種子粉末の活用を目指して～」という研究テーマで論文要旨と発表風景動画を公式サイトに公開した。

SS 化学部では、ナタマメやダイズの種子に多く含まれるウレアーゼという酵素について



本校で収穫した赤ナタマメの未熟種子

継続して研究を行っている。WEB SOUBUN への参加にあたって、これまでの研究成果を要旨とスライドにまとめ、発表の様子を本校至誠ホールで撮影した。例年とは異なる形での参加に戸惑いもあったが、インターネット上で公開したことによって家族や友人にも発表を見てもらえ、総文祭に参加する高校生だけでなく、幅広い年代の様々な人々に自分の研究を伝えることができた点に、現地開催にはない魅力を感じた。

7月31日から10月31日の約2か月間、各部門の参加校の論文要旨や発表風景動画、ポスターなどがWEB上で数多く公開される。全国の高校生の研究はとても興味深く、私自身も刺激を受けている。現地開催の中止は残念だったが、このような形で研究成果を発表する機会を持つことができ嬉しく思う。こうち総文祭の開催に向けて準備をしてきた高知県の高校生たちや、今回の総文祭に携わってくださった大会関係者の方々、そして先生方や部員たちに感謝したい。今回の経験を生かして今後も意欲的に研究を続けていきたい。

